



# 県政報告 Vol.33

2025.7月発行



## 愛知県議会議員 神谷まさひろ

「日記で綴る県政報告Vol.33」をお届けします。今回は「刈谷市制施行75周年記念式典」「愛知県新体育館（IGアリーナ）開業式典」といったおめでたい式典を始め様々な行事への出席など、議員としての活動の一端を紹介すると共に、5月臨時議会や6月定例愛知県議会の開会初日の内容について掲載しています。ぜひともご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



### 4.18 金 ▶ 僅か2秒ですが、大きな改善です。街頭活動で市民の声をキャッチ



ササガパークでのラジオ体操の後は、小垣江駅前  
で街頭活動。

先日この場で、通学団の見守りをしている方から「県道の歩行者信号の時間が短くて子ども達が渡り切れないので、時間を長くして欲しい」との要望を頂きました。交差点の一方の信号時間を長くすると、反対の車道の渋滞を招く恐れがありますから、非常に難しいのですが、警察が調査を下さって2秒だけ長くすることが出来ました。今日、その方に再びお会いしたので「僅か2秒だけですが如何ですか？」

とお聞きしたところ、「1年生の足でも渡り切ることが出来るようになりました。ありがとうございました。」と喜んで下さいました。

「喜んで貰える喜び！」議員として一番の喜びです。街頭活動はこうして市民の皆さんの声をキャッチする機会でもあります。



### 5.7 水 ▶ アジア開発銀行年次総会が愛知県で開催されることが決定しました



5月5日、イタリア・ミラノで開催された「第58回アジア開発銀行（ADB）年次総会」において、2027年の「第60回アジア開発銀行年次総会」が愛知県名古屋で開催されることが決定しました。

ADB年次総会は、アジア・太平洋地域に加え、アメリカやヨーロッパなど世界から69の国・地域の財務大臣及び中央銀行総裁が一堂に会する世界的にも重要性・注目度が高い

会合で、日本での開催は10年ぶり6度目、愛知・名古屋では初めての開催となります。

ADB年次総会は、アジア・アジアパラ競技大会開催後の国際的なイベントとして、相応しい会議だと考えています。年次総会の開催が、大きな経済波及効果や、国際的知名度・都市ブランドの一層の向上、当地域とアジア各国の経済的な結びつきの強化に繋がると期待しています。

### 5.13 土 ▶ 衣浦港整備促進期成同盟会総会が開催されました



『令和7年度衣浦港整備促進期成同盟会総会』に出席しました。

「衣浦港の主な輸入品目は石炭・とうもろこし・木材チップ・コークスといった原材料、一方輸出品目は鉄鋼・金属く

ず・航空機類など、臨海部に約630社の事業所が立地し、碧南武豊火力発電所やバイオマス発電所などが立地するエネルギー基地」というのが衣浦港の特徴で、令和6年の貿易総額は4932億円となっています。昨年度「衣浦港港湾脱炭素化推進計画」が策定され、①水素等の受入れ環境の整

備 ②港湾オペレーションの脱炭素化 ③碧南火力発電所におけるアンモニア混焼に向けて設備を増設 といった取組がなされています。

また、飛行機好きの私にとって嬉しい取組に「Sea&Air (シー&エア)」があります。(株)SUBARUで製造した航空機の部品を衣浦港の亀崎ふ頭から常滑港に運び、セントレアからドリームリフターによってアメリカまで輸送しているのです。セントレアに行くとそのドリームリフターをしばしば見ることが出来るのです(^o^)/



## 5.19 月 油ヶ淵で水質浄化のための実証実験が行われています

**油** ヶ淵で行われている水質浄化の取組を視察して来ました。

この取組は、ヘドロスという超音波ヘドロ自動計測器によってヘドロの堆積状況を詳細に把握すると共に、そのヘドロを「ハイデンスナノバブル」の照射により減少させ水質改善効果などを検証する目的で、名古屋工業大学の客員教授である野口好夫氏らが中心となって行っているものです。4月4日～6月30日まで照射を行います。今日はその中間での実績測定が行われたのです。

この油ヶ淵は、複数河川の合流箇所にある湖沼という特性によって年々、ヘドロが堆積する影響を受け、生物環境は悪化傾向にあり、シジミの漁獲量減少や生育する魚種の減少などが近年問題となっています。また1979年には環境省が公表する全国の湖沼水質状況でワースト2という不名誉な記録を受けたこともあります。平成6年度から行政と市民が一体となって水環境改善に取り組んだ結果、一定の改善効果は出ていますが、県議会でも度々、更なる水質浄化の必要性が訴えられているのです。

ヘドロ減少のしくみは「ナノバブル水(湖底に滞留・沈降)

⇒湖底に酸素を供給⇒好気性微生物の活性化⇒ヘドロ分解⇒ヘドロ減少(環境改善)」というもので、この「ハイデンスナノバブル=超微細気泡発生装置」を開発した東京大学の安斎聡教授とも話をさせて頂いたのですが、絶対の自信を持っておられました。

そして、期待の測定結果は…

ヘドロデータを解析したところ、ナノバブル筏木を中心に上下流に幅30メートルにわたり、延長40メートルの範囲で湖底20～25センチのヘドロの消滅が確認できたとのことで、まずは満足いく結果でしたので、実用化が期待されるようです。



## 5.22 木 経済労働委員会とアジア・アジアパラ競技大会推進特別委員会への所属が決定

**愛** 知県議会は臨時議会が開催され、議長・副議長・監査委員・委員長など議会の新たな役職と委員会の所属が決定しました。

新たな議長には川嶋太郎議員(名古屋市瑞穂区選出:5期)副議長には南部文宏議員(名古屋市守山区選出:3期)が選ばれました。私は経済労働委員会と前回に引き続きアジア・アジアパラ競技大会推進特別委員会の所属となりました。しっかり取り組んで参ります。



知事の議案提案説明の

中から2項目について一部を紹介します…

### 【水素・アンモニアの社会実装の推進】

- 4月1日に水素等の社会実装に向けたプロジェクトの推進体制を強化するため、経済産業局内に「水素社会実装推進課」を設置した
- 水素社会実装推進課では、新たなエネルギー源として期待されている水素やアンモニアの社会実装を実現するために、水素・アンモニアサプライチェーンの構築など、様々なプロジェクトを推進していく
- 2030年度までに燃料電池商用車を7千台導入するという意欲的な目標を掲げ、5月19日には国からの集中的な支援を受けられる「燃料電池商用車の導入促進に関する

重点地域」に、本県を中核地方公共団体とする中部重点地域が選定された

■今後も、国からの支援を活かしながら、燃料電池商用車の導入や水素ステーションの整備を進めるとともに、引き続き、関係機関等と連携・協力を図りながら、水素・アンモニアの社会実装に向けて強くアクセルを踏み込んでいく

### 【交通安全対策】

■来年4月からは、自転車の交通反則通告制度、いわゆる「青切符」が導入される予定であることから、順守すべき自転車の交通ルールを分かりやすくまとめたルールブックを新たに制作し、市町村や学校、シルバー人材センター等に配布するなど、交通ルールの順守徹底を呼びかけていく

5.29 木

## 祝! 刈谷市制施工75周年記念式典が開催されました

**刈** 谷市制施工75周年記念式典に来賓として出席しました。様々な分野での功績があった方々に対して、市長・教育長・社会福祉協議会会長・共同募金委員会会長から表彰・感謝状の贈呈がありました。日頃のご尽力に心からの敬意を表します。



また、挨拶の機会がありましたので、ジブリパーク、STATION Ai、IGアリーナ、アジア・アジアパラ競技大会、県立高

校体育館へ空調設備設置、技能五輪国際大会などの県の事業を紹介した後、ドイツの哲学者ベルネの言った『時代を海、国家を船、政府をマストとすると、国民は風』という言葉を用いて、「良いまちは行政だけで作られるものではなく、市民の理解や支援、協力(つまりこれらがベルネの言う風ということ)があって始めて良いまちを創ることができ。そして、今日この会場におられる方は各種団体・地域・職場においてリーダーとして様々な分野で活躍しておられる方々ばかりです。ぜひそれぞれの立場・分野で行政を後押しする風を吹かせて下さい」といった主旨で挨拶をさせて頂きました。

75周年を機に刈谷市が更に発展することをお祈りいたします。

5.31 土

## IGアリーナの開業式典 世界最高水準のスポーツ・エンターテインメントに期待します

**愛** 知県新体育館「IGアリーナ」の開業式典に出席しました。

この施設は、延床面積63000㎡、地上5階建て、収容人数最大約17000人(現体育館7407人)、建設費は464億円(うち愛知県の負担は264億円)で、官民連携の我が国のモデル事業となっている施設です。

運営会社構成企業の中に、NTTdocomoなどのほか、世界のトップアリーナ運営企業で施設開発から運営・音楽興行等幅広いエンターテインメント事業を展開しているAEG(アンシュツエンターテインメントグループ)が参画していることにより、世界的に有名なアーティストの招致と全世界への配信が可能であると期待をされています。

天井高31mのメインアリーナには、国内最大級の8面体のセンタービジョンや220mのリボンビジョンに加え、250枚のデジタルサイネージが設置されており、エンタメ界をリードする音楽プロデューサー・演出家の滝沢秀明氏によるオープニングアクトでは世界トップレベルの臨場感を味わうことが出来ました。



今日と明日の2日間は、「IGアリーナオープニングDAYs」が開催され、7月13日の大相撲名古屋場所をこけら落としとして、8月にはNBAロサンゼルス・レイカーズの八村塁選手によるバスケットボールクリニック、12月にはフィギュアスケートグランプリファイナルが開催されます。さらには名古屋ダイヤモンドドルフィンズのホームゲームや愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会などのスポーツイベントのほか、海外のビッグアーティストSTINGのコンサートや東京ガールズコレクションと連携したあいち・なごやFASHION DAYSなど、様々なイベントが続々と開催されます。

「IGアリーナ」から世界最高水準のスポーツ・エンターテインメントが発信され、多くの皆様に愛され、愛知・名古屋に更なる賑わいをもたらす施設となるよう大いに期待しています。

## 6.4 水 AXIA EXPO 2025 「愛知発 カーボンニュートラル社会の実現へ」

**常** 滑市のAichi Sky Expoにおいて開催されている産業展示会「AXIA EXPO 2025」に出かけました。昨年からはまったこの「AXIA EXPO」は「愛知発 カーボンニュートラル社会の実現へ」をテーマに、次世代エネルギーやスマートシティ、グリーントランスフォーメーション(GX)など、持続可能な未来社会の構築に向けた最新技術や製品が一堂に会する場となっています。



開会式の後に行われた先進自治体によるパネルディスカッションでは「水素の社会実装における課題と展望」というテーマで愛知県・福岡県・福島県・北海道の取組が紹介されました。また、数あるセミナーの中で私は「ペロブスカイト太陽電池の早期社会実装」に注目しました。

ペロブスカイト太陽電池とは、新しいタイプの太陽電池で、「ペロブスカイト構造」と呼ばれる結晶構造を持つ材料を使った発電技術です。従来のシリコン太陽電池と比べて、軽く、薄く、柔軟で、製造コストが安いという特徴があります。軽量・柔軟で薄いフィルム状にできるため、ガラスや壁、窓、さらには衣類などにも貼り付けが可能で、ビルの外壁や車体、ドローンなどにも応用可能です。

現在、愛知県ではペロブスカイト太陽電池の普及と社会実装を目指す「ペロブスカイト太陽電池普及拡大プロジェクト」が進行中です。そして、5月30日には「ペロブスカイト太陽電池推進協議会」の第1回会議が開催されました。このように、愛知県はペロブスカイト太陽電池の普及と社会実装に向けた具体的な取り組みを進めており、今後の展開が注目される分野なのです。

## 6.19 木 本日から7月8日までの会期で6月定例愛知県議会が開会しました

**6** 月定例愛知県議会には一般会計予算議案1件、条例の制定議案2件、条例の一部改正議案5件、その他の議案18件の計26議案が上程されました。条例の制定としては「カスタマーハラスメント防止条例」「ソーシャルイノベーション創出基金条例」の2件です。

また一般会計補正予算案では、米国の関税措置の影響を受ける中小・中堅企業への支援を始め一般会計86億9,426万円の増額補正予算案が提出されました。

### 主な補正予算の内容は…

- ◎米国の関税措置の影響を受ける中小・中堅企業への支援
- ◎高等学校等の授業料に係る保護者の経済的負担の軽減
- ◎高等学校等奨学給付金制度の拡充
- ◎訪問介護事業所等が行う人材確保・経営改善に向けた取組への支援
- ◎医療機関が行う施設・設備整備への支援

- ◎医療機関が行う電子処方箋の導入への支援
- ◎依存症に対応できる医師養成のための寄附講座の設置
- ◎第60回アジア開発銀行年次総会の愛知・名古屋開催への支援
- ◎ソーシャルイノベーションの創出促進のための基金の創設
- ◎あいちシンクロトロン光センターにおける電池開発用の設備整備
- ◎カスタマーハラスメントのない社会に向けた取組の推進
- ◎アドバンスドエアモビリティアジアシンポジウムの開催支援

主な会議日程	
6月19日(木)	本会議 開会式・開会宣言
6月20日(金)	本会議 代表質問
6月21日(土)	本会議 一般質問
6月22日(日)	本会議 一般質問
6月23日(月)	本会議 議決
6月24日(火)	本会議 議決

